



令和8年6月26日

垂井町立表佐こども園

園内にはダンゴムシやカタツムリ、ツマグロヒョウモンの幼虫、地域の人からいただいたザリガニやカニなどの生き物がおり、子どもたちは室内でも自然を身近に感じながら過ごしています。

先月、ビオラが植えてあるプランターで見つけたツマグロヒョウモンの幼虫がサナギになり、蝶になりました。「あっ、ちょうちょになった!」「まだ羽根が広がっていないから、休んでいるのかな?」等とツマグロヒョウモンの変化に気づき、成長や誕生を喜んでいます。

水遊びや泥んこ遊びをしたよ



園庭に水をまいてできたドロドロの泥や湿った砂に手や足で触れたり、砂場や赤土山を掘って川のように水を流したりして遊んでいます。「にゆるにゆる〜」「水がいっぱいになってきた」と感触や変化する土や砂の様子にワクワクしたり、『どこを掘ると水が流れるのかな?』と友達と考えながら道を作り、流れた嬉しさを感じたりしていました。

川遊びをしたよ



4・5歳児が相川で川遊びを行いました。「早く川に行きたい」「魚いるかな?」と期待いっぱい相川に向かっていました。川の水の冷たさを感じながら、石で囲って温泉を作ったり『魚やカニはいないかな?』と草のところを網で探したりしていました。遊んでいると「ゴミがあったよ!」と網ですくう姿が見られ、『川をきれいにしよう』という気持ちも伝わってきました。身近な自然で遊ぶ楽しさや自然を大切にしようと思う気持ちを大切に育んでいきたいと思います。

プール掃除をしたよ



5歳児がプールサイドの草を抜いたり、雑巾でプールの壁や底を拭いたりして、プールをピカピカにしました。その姿を見て、後日、4歳児が掃除をしました。『早く遊びたいな』と楽しみにしている様子や自分たちが遊ぶ場所をきれいにしようという気持ちが、掃除をする姿から伝わってきました。6月中旬からはプール遊びが始まりました。たくさん水に触れて遊び、水の冷たさや心地よさ、プール遊びの楽しさを感じる遊びを取り入れていきます。